

## 光り輝く人は頑張っている！

船引小学校長 安生昌弘

昨日で長い 29 日間の夏休みが終わり、今日は、また授業が始まる日です。夏休みに 3 つのチャンスを生かすように話しましたが、どうでしたか。『学習』『挑戦』『仕事』の 3 つのチャンスでした。夏休みで付けた力を生かして自分をぐんと伸ばすのが、これからですから、がんばっていきましょう。

ところで、私は今朝、学校に来る時、田んぼを見かけました。登校班で登校する人の中には歩いてくる途中に田んぼがある人もいるんじゃないかな。スクールバスや車の窓から田んぼを見かける人もいるんじゃないかな。夏休みの間にずいぶんと大きく成長したことに気づきましたか。春に田植えをした頃には薄い黄緑色で、あんなに小さく細かった稲が、とても濃い緑色で太くて何本もに増えて大きくなっていました。実は夏休み中に目立たないような小さな花を咲かせ実である米ができ始めているんです。これから秋に向かって稲は花だったところにたくさんのお米を実らせていきます。楽しみですね。でも、不思議じゃありませんか。あんな汚い泥の中に生えていて泥の中の栄養を吸い上げているのに、真っ白で輝くような艶(つや)の美味しいお米が出来るのですよ。



私は不思議でたまりませんでした。でも、夏休み中にあの田んぼの稲を見ているうちに思い付きました。それは人間の努力というがんばりとその人が力を伸ばした輝く姿との関係です。がんばっている姿は、人から見てるとかっこ悪く、汚い泥のように見えるかも知れません。でも、そのかっこ悪い姿の中で努力して力を伸ばすから、光り輝くような自分になれるのではないかということです。稲の姿とこれから実るお米から、努力とがんばることの大切さを教えられたように感じました。光り輝くような活躍する人は、実は人に見られないところで頑張っているものなんですね。出来ないことを「出来ない」というのを恥ずかしがってはいけないし、出来ないことを頑張って出来るようにしようとしている人を「かっこわるいなあ」などとバカにしてはいけませんよ。

今日から夏休みで止まっていた授業が始まりました。前期の始業式にみんなは自分のめあてを立てたはずです。でも、それが自分にとって良いめあてとなった人ばかりではないと思います。いつの間にか忘れてしまった人もいるかも知れません。そこで、自分の学校生活のめあてを確かめたり、見直したりして下さい。その時、前期の終わり 10 月 8 日にどんな自分になっていることが素敵なのかを考えて、めあてを見直すことが大事です。力いっぱい根から栄養や水を吸い上げて米を実らせていく稲に負けないよう、光り輝く「やさしく」「かしく」「たくましく」子どもになるため、今日からの前期の残り 31 日間をがんばり通す、めあてというパワーを、今日から転校してきた 4 人の友達が増えたので 686 人の全校生が持って欲しいと思います。